

新型コロナ禍における人口増対策・社会経済の再活性化と県・国への意見・要望等について

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
大分市	<p>コロナ禍においても感染症対策を講じた上で、オープンスペースを活用したイベントを開催するなど「新しい生活様式」を踏まえたまちづくりを進め、都市の魅力を高めていく。</p> <p>【のつはる天空広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のつはる音の森フェスティバル（9月26日） DRUM TAO、別府アルゲリッチ音楽祭との連携によるクラシック音楽、市内の中学校・高等学校による吹奏楽やマーチング ・ななせダムロックフェス（10月30日、11月1日） 国土交通省九州地方整備局職員有志による音楽祭 <p>【祝祭の広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OITAサイクルフェス パブリックビューイング（10月3日、4日） 大型LEDビジョンによるパブリックビューイングを実施（コロナ禍での開催を考慮し、コース沿線での観戦は自粛） ・おおいた食と暮らしの祭典（10月10日、11日） ・大分トリニータ パブリックビューイング（10月14日、11月28日） 	<p>【個人向け支援】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子・父子・寡婦福祉資金（生活資金）の利子補給 保証人がいない場合の利子に対する利子補給 18件 ②留学生活用事業 「おでかけEnglish ～留学生と英語で遊ぼう～」 留学生が収入を得る機会を確保 1回7,000円の謝礼金 派遣人数69人 ③水道料金の免除 1,278件 38,782千円 <p>【企業・事業者向け支援】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①小規模事業者競争力強化支援事業補助金 （感染症対策機器の導入等） 紫外線滅菌装置、サーモグラフィ装置の導入など （上限30万円） 40件 10,366千円 ②小規模事業者店舗家賃支援事業 家賃3ヵ月分（上限24万円） 3,113件 630,527千円 <p>【観光振興】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①大分市おもてなしクーポン発行事業 宿泊者1名につき2,000円分のクーポン券を発券 配布件数 7,626件 	<p>【接触確認アプリ（COCOA）の利用推奨】</p> <p>利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることを期待されることから、県を挙げて普及していただくとともに、国に対しても引き続き積極的な広報を行うよう要望していただきたい。</p> <p>【財政措置の継続】</p> <p>平成20年のリーマンショックの際には、翌年度の税収が約29億円減少したが、今回のコロナウイルス感染症は、それ以上の影響を及ぼす可能性もある。新型コロナウイルス問題が収束するまでの間は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のような財政支援を継続的に行うよう国に要望していただきたい。</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
別府市	<p>【ワーケーション事業の強化】</p> <p>①別府ツーリズムバレー推進事業におけるワーケーションの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市部企業と地元事業者と学生が交流を図る場を設け、企業誘致、起業創業等に繋げる。 ・また、学生の雇用の機会を創出し、企業・学生双方に取ってメリットを享受できる体制の構築に取り組み、企業の従業員やフリーランスの移住、また、学生などの定住に繋げていく。 ・今後、企業と組んで大規模な事業展開を戦略的に行う予定。 <p>②庁内におけるワーケーション推進体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業政策課、観光課、総合政策課で連携体制を整え、企業誘致、観光振興、移住促進の観点からワーケーション推進に取り組んでいる。 <p>③コワーキングスペース「a side 満寿屋」事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔ながらの湯治宿をリノベーションしたコワーキングスペース。 ・今年度は初月半額キャンペーンや、全国のオフィスが使い放題になるサブスクリプションサービスに登録するなど、ワーケーションの場として活用してもらう取組を行っている。 <p>【移住の取組】</p> <p>①おためし移住施設</p> <p>「フロムーン別府ハウス・田の湯ベース」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を講じた上で、利用者を受け入れている。Wi-Fi利用可能。 <p>【関係人口の取組】</p> <p>①「別府市ハーフ住民クラブ」会員制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別府滞在中に各種イベント等に参加したり、SNSへ積極的に情報発信をしていただける方が応募可能。市民図書館の利用や、市営温泉入浴券購入券の特典あり。 	<p>【個人向け支援】</p> <p>①緊急雇用事業（600,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員500人雇用 <p>②大学生支援事業（40,150千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活が困窮している市内の学生に対する食糧支援 ・支援事務の協力者への謝礼 <p>【企業・事業者向け支援】</p> <p>①中小企業者等賃料補助事業（420,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セーフティネット保証の認定や、売上が減少し、政府系や民間資金の融資を受けている中小企業者などに対し、家賃の1/2（上限7万円）を最大6か月間補助することにより、経済的な支援を実施 <p>②中小企業者向け相談事業（2,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士、社会保険労務士による相談受付 <p>③別府エール食うぽん券発行支援事業（116,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入額にプレミアム分を上乗せした市独自の商品券を発行し、飲食業者等に対して支援を実施（プレミアム率30%） <p>④新型コロナウイルス感染予防対策支援事業（105,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新しい生活様式」に対応できる環境整備につなげるため、市内で飲食業・宿泊業を営む事業者に対して、新型コロナウイルス感染症の予防対策に伴う経費の9/10（上限150千円）の補助を行う。 <p>【観光振興】</p> <p>①宿泊割引支援「湯ごもり別府エール泊別府鬼割プラン」事業（97,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊補助金を出すことで、旅館・ホテル業者に対して支援を行う。 	<p>温泉を核として豊かな自然に囲まれ、多くの資源を有している大分県は、ワーケーションの適地である。大分県が誇る地域資源（温泉、自然等）を最大限に活かし、大分県全体でワーケーションを連携して推進することで、地方にビジネスを呼び込むきっかけとなり、また、移住・定住に資すると考えられる。国・県には更なる支援の拡充をお願いしたい。</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
中津市	<p>【自然増の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てしたくなるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業向け子の看護休暇導入取得奨励金制度導入し、従業員が「子の看護休暇」を取得した場合10万円 ・産後ケア 不安や負担を抱える産婦に対し、産科医療機関等において出産後のサポートを行う。 ・病児保育、病後児保育事業 <p>【社会増の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てを後押しする企業誘致（雇用の確保） <ul style="list-style-type: none"> ・企業立地促進助成金の見直し コロナ禍で立地を延期した場合の要件緩和助成額の引き上げ 過疎地域在住者や女性を新たに雇用した場合に加算女性が働きやすい職場づくり（ベビールーム等の整備）に取り組む企業に対する助成 ・有資格者人材バンク 有資格者を中心に雇用マッチングを行う。 	<p>【個人向け支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児子育て支援特別給付金 令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生した者に10万円給付 ・就学援助費の受給者に特別給付金 児童・生徒1人あたり3万円 ・家庭用水道料金の免除 家計急変した世帯の水道料金を最大3ヶ月免除 <p>【企業・事業者向け支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナに負けるな！なかつ支え合い商品券（プレミアムなし商品券） ・中津市プレミアム商品券 1万円の購入で、1万2千円分のお買い物ができる商品券 ・中小企業等賃料補助金 前年同月比で30%以上減少し、建物を賃借している事業者を対象に家賃の8/10（月上限8万円・複数店舗月上限16万円）を最大6か月間補助 ・中小企業者等事業継続支援金 前年同月比で30%以上減少し、建物を所有している事業者を対象に、一律10万円給付 ・新型コロナウイルス感染防止対策補助金 感染防止対策として実施する消毒・除菌等に係る経費を補助（10/10（最大6万円、複数事業所最大12万円） <p>【教育支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家計急変による就学援助臨時特別給付金 家計急変により就学援助基準額を下回った児童生徒の保護者に給付。 <p>【医療福祉支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症患者の治療等を行う医療施設支援事業 治療等に携わった医療施設に対し手当相当額の補助を行う。 ・介護・障害福祉サービス事業所職員への慰労金支給 感染防止対策を講じつつ事業継続に努める事業所勤務職員に慰労金支給。 <p>【観光振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元泊まろう！ちよい旅なかつキャンペーン 中津市内の宿泊施設宿泊者に、2,000円/人のクーポン券進呈。 ・2020中津耶馬溪食の周遊キャンペーン 中津の名物を食べた方に、抽選で豪華景品をプレゼント。 ・なかつ発福旅キャンペーン 県が実施する旅行割引キャンペーンを利用し、市内対象旅行代理店から予約を行った場合に2,000円/人（日帰りの場合1,000円/人）をさらに割引。 	<p>【支援策の対象期間延長について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の収束（ワクチン開発等）には、期間を要することが想定されることから、社会経済活動への影響も長期化が予想される。現在国・県において行われている支援策の対象期間の延長及び市町村がこの先行う支援策に対する財政的支援を要望。

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
日田市	<p>【自然増の取組】 ・子育てに関する環境や支援の充実 これまでも結婚から出産・子育てまで切れ目ない支援を行ってきたが、近年は子どもや子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化していることから、引き続き子育てに関する悩みや困り事の解消と子育て環境の充実を図るため、総合的な子育て支援拠点の創設を進める。</p> <p>【社会増の取組】 ・市内での雇用の定着に向けた取組 就職支援サイトやSNSを活用して市内企業の基本情報や求人情報などを丁寧に情報発信していくとともに、若年者向けの就職相談窓口の利便性の向上を図り、特に若い世代のUターンを促進していく。</p>	<p>【個人向け支援】 ①学校給食費保護者負担軽減事業（154百万円） 小・中学生の保護者の経済的負担を軽減することを目的に、支援金として今年度9月以降の給食費減免相当額（約3万円）を給付する。 ②未就学児に係る子育て世帯に対する給付金事業（101百万円） 子育て世帯の経済的負担軽減を目的に、未就学児1人につき給付金3万円を支給する。</p> <p>【企業・事業者向け支援】 ①中小企業等への賃料補助（193百万円） 新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した市内の中小・小規模事業者へ店舗、事務所、事業用の土地及び駐車場等の賃料の一部を補助する。 【補助額】 月額の4/5、上限64,000円（最長6か月） 【対象者】 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月から令和2年9月の間で、1か月の売上高が前年同月比で20%以上減少している事業者等 ②中小企業等感染症防止対策支援事業・飲食店応援クーポン発行事業（95百万円） 市内の中小企業等に対し消毒・除菌対策経費に上限3万円で補助するとともに、売り上げが大きく減少している飲食店等を支援するため、プレミアム付きクーポンを発行する。発行額1億5千万円 ひたいーと券…5,000円×100冊×300店舗 （プレミアム率66.7%（2,000円補助）） ③コロナに負けるな！商品券発行支援事業（170百万円） 感染症の影響により落ち込んだ地域の消費を喚起・下支えするためプレミアム付き商品券（電子含む）の発行を支援する。発行総額は7億4千万円。 紙（共通券）…6,000円×80,000冊 （プレミアム率20%（1,000円補助）） 電子（中小店用券）…6,500円×40,000口 （プレミアム率30%（1,500円補助））</p> <p>【観光振興】 ①感染症対策観光需要喚起事業（32百万円） 屋形船や温泉などの観光資源の体験や、宿泊客に対して特産品のプレゼント等を行う。 ②アウトドア観光情報発信事業（12百万円） 日田を拠点としたアウトドア観光の魅力を発信し誘客を図る。</p>	<p>社会のイノベーション創出の動きをさらに加速し、持続可能な地域社会を実現するため、早期に5GをはじめとしたICTのインフラ整備が行えるよう、財政的な支援の継続・拡充など、万全の対策を講じること。</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
佐伯市	<p>【自然増の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>10/31開館の「さいき城山桜ホール」を核とした子育て拠点づくり</u> <p>子育て・子育て支援室の設置 乳幼児の一時預かりや、子育ての相談などにも応じる</p> <p>【社会増の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ベトナム人地域おこし協力隊による国際化の取組都市間交流</u> ・ <u>外国人技能実習生受入による社会増の取組（米水津地域）</u> 労働力不足・担い手不足に対応、地域住民との交流により他文化への理解を深める 	<p>【企業・事業者向け支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>さいきエールクーポン（109,246千円）</u> 市内飲食店の資金援助のための先払いクーポン券 「さいきエールクーポン」の発行（5,000円で10,000円分） （9月末時点）参加店舗287店舗、概算交付額70,685千円 <p>【農林水産業事業者支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>佐伯のさかな応援プロジェクト事業（67,617千円）</u> ヒラメ等高級魚種の消費回復のための販売促進、陸上養殖事業者の経営支援、ヒラメの学校給食への導入促進及び都市圏への販売促進を推進 ・ <u>九重町との学校給食の総合交流</u> 九重町で佐伯産のヒラメを学校給食に提供（880食分） 佐伯市で九重町の牛肉（1,280食分）を学校給食に提供 <p>【観光振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>別府市小学校との修学旅行の相互交流</u> 市内小・中学校計29校が別府市へ、別府市の小学校13校が佐伯市へ <p>豊後高田市、国東市、宇佐市の小学校も当市訪問予定</p>	<p>ふるさと納税の制度における、返礼割合の基準（現行：3割以下）の拡大を要望する</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等									
<p>臼杵市</p>	<p>【自然増の取組】</p> <p>①インフルエンザ予防接種費用助成（拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生後6か月以上の乳幼児及び小中学生への接種費用の助成（1回1,000円）について、13歳未満の助成回数を、1回から2回へ拡充 ・65歳以上の高齢者等への接種（予防接種法による定期接種）について、市の助成額を500円増額（自己負担額1,500円→1,000円） <p>②出生祝い品贈呈事業（拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品券1万円に加えて、オムツ1万円相当を追加 <p>【社会増の取組】</p> <p>①移住者への住宅取得補助金（拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本額100万円に加え、地域加算10万円、地元業者加算10万円を追加（最大120万円） <p>②独自のオンライン移住説明会、個別相談会の開催（新規）</p> <p>③少人数を対象とした本格移住ツアー、オーダーメイド型ツアーの開催（新規）</p> <p>④地域住民（地域振興協議会）が空き家の掘り起しを担う域環境整備事業（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1物件につき登録奨励金3万円 <p>⑤サテライトオフィス誘致促進事業（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィス誘致に伴う賃貸料、事務機器リース等の助成 <p>【人口増の成果】</p> <p>10歳未満の人口について</p> <table border="0"> <tr> <td>出生数</td> <td>2,011人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>居住者数</td> <td>2,212人</td> <td>(R2.3.31現在)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>+201人</td> <td></td> </tr> </table> <p>※移住・定住、子育て施策により、出生数より201人増加している。</p>	出生数	2,011人		居住者数	2,212人	(R2.3.31現在)		+201人		<p>【個人向け支援】</p> <p>①子育て世帯応援お買物券交付事業（45百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生までの子ども1人につき市内商店街・商工会発行のお買物券を支給 <p>②後期高齢者外出応援事業（31百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者（75歳以上）へタクシー又はバス券（3千円相当）を支給 <p>③新生児子育て応援特別給付金（16百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の特別定額給付金給付基準日翌日（R2.4.28）以降に生まれた子どもを対象に給付金（10万円）を支給 <p>④児童福祉施設等従事者支援金（25百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の緊急包括支援交付金の慰労金支給対象とならない、保育施設や児童クラブ等に勤務する従事者に対し、一人5万円分のお買物券を支給 <p>【企業・事業者向け支援】</p> <p>①プレミアム商品券発行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム率（飲食店応援版1.3億円30%、通常版5億円25%） <p>②小規模事業者等賃料支援補助金（36百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高が前年同月比20%以上減少している小規模事業者への賃料助成 月上限60千円×3月×200事業所 <p>③飲食店等支援補助金（9百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高が前年同月比20%以上減少している宿泊業、飲食店への光熱水費助成 月上限30千円×3月×100事業所 <p>④小規模事業者等再起応援金（28百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き売上高が減少している小規模事業者へ光熱水費の助成 月上限60千円×3月×155事業所 <p>⑤キャッシュレス普及促進事業（12百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者へのキャッシュレス決済を普及促進し、非接触型の新しい生活様式の導入を推進。 ・QRコード決済を利用した飲食、買い物、観光施設利用に、プレミアムポイントを付与するキャンペーンを実施し、市内の消費喚起を促す。 <p>【観光振興】</p> <p>①市内周遊型観光イベント実施補助事業（19百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内誘客をめざして新生活様式に沿った安心安全なイベント「リアル宝探し」を実施、ゲーム性を持たせた市内周遊により滞在時間を延ばし、消費喚起、特産品PRにつなげる <p>②臼杵市と八幡浜市連携事業（1百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州と四国の玄関口である臼杵市と八幡浜市の市民相互にモニターになっていただき、共に新しい観光の在り方を探る。 <p>③食文化拠点施設（料亭・割烹・宿泊施設等）支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源であるふぐ料理の魅力発信、市内宿泊促進を図り、観光消費拡大をめざす。 	<p>・長引く新型コロナウイルス感染症対策に対応するため、国の地方創生臨時交付金の延長、追加、継続交付について、検討していただきたい。</p> <p>・新型コロナ感染が疑われる発熱者が公共交通機関を利用して医療機関を受診し、その後感染が確認された場合、利用したバス・タクシー事業者の事業停止もあり得ることから停止期間中の支援を検討していただきたい。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止として、市内の県立高校に通う通学手段である民間バスについて、市費でバスを増便運行した費用を負担していただくとともに、第2波、第3波が発生した際には、県費でバスの増便を運行していただきたい。</p>
出生数	2,011人											
居住者数	2,212人	(R2.3.31現在)										
	+201人											

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
津久見市	<p>【自然増の取組】 《安心子育て支援事業》 <ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療・不育症治療費助成 ・子ども医療費助成（中学校3年生まで）無料 ・予防接種事業（任意予防接種の三種混合・不活化ポリオの全額助成） ・乳幼児健診（5回）5歳児の集団健診 《新婚世帯・子育て世帯家賃補助金》 （新婚世帯・移住子育て世帯対象） <ul style="list-style-type: none"> ・市内の賃貸住宅に転入、転居する新婚世帯及び子育て世帯の方に対し、引越時に係る費用補助金と家賃補助金を交付 </p> <p>【社会増の取組】 《移住者居住支援事業》 <ul style="list-style-type: none"> ・市外からの転入者に対し、新築や改修費用等について補助金を交付 《企業立地促進条例》 <ul style="list-style-type: none"> ・企業立地の促進、雇用機会の拡大、居住環境の整備に対して、費用の助成を行う 《創業支援事業補助金》 <ul style="list-style-type: none"> ・創業を考えている方を後押しするため、創業に係る費用に対し補助金を交付 《移住・定住ポータルサイト「つくみ de Life」の運営》 <ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住ポータルサイト「つくみ de Life」での空き家、空き地活用対策の強化、特に住まいの内容充実 《つくみITプロジェクトの推進》 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯から高齢者世帯までが抱える多様な問題に対して、人とひと、人と地域、みんながつながり支えあう地域共生社会を実現することで、誰もが安心して暮らせる社会を構築 《リビングシフト推進支援事業》 <ul style="list-style-type: none"> ・地方で「生活・働く」の選択肢のプラス材料とするため、農業体験支援や農業就業支援、U・I・Jターン後の福祉職種就業や、中途就職等への支援を実施 </p>	<p>【個人向け支援】 ①ファイト津久見まちづくり推進事業 （賑わい創出や地域活性化、婚活イベントなど、『津久見のまちづくり』につながるソフト事業に対し補助金を交付）</p> <p>②プレミアム付クーポン券事業 （プレミアム付お買物券（プレミアム率25%、総発行額1億円）を発行し、市内の消費喚起を図ることで、小規模事業者等の事業継続の下支えを実施）</p> <p>③国庫補助支援等の対象外になったエッセンシャルワーカーや個人に対する支援 （保育園等従事者、調剤薬局従事者、新生児、妊婦、ひとり親世帯等）</p> <p>【企業・事業者向け支援】 ①小規模事業者等事業継続支援事業 （小規模事業者等の事業継続を下支えするため、支援要件を満たす事業者に対して、1事業者あたり10万円の支援金を支給。）</p> <p>②小規模事業者等家賃等支援事業 （小規模事業者等の事業継続を下支えするため、支援要件を満たす事業者に対し、家賃・リース代などの固定費を助成（上限月2万円を6か月間））</p> <p>③農林水産業継続支援事業 （持続化給付金の支給を受ける一次産業事業者において、その支給限度額を超えた場合に、事業に使用する燃料費を助成することで事業継続の支援）</p> <p>【観光振興】 ①石灰石・セメント産業を軸とした産業観光コンテンツ造成事業 （国土交通省「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業を活用。津久見の「石灰石、セメント産業」の魅力を地域住民をはじめ、「一般消費者」に直接伝えることを意識した産業観光の取組を試行）</p>	<p>【地方自治体への財政確保について】</p> <p>新型コロナウイルス感染症について、冬季の感染拡大が懸念される中、引き続き、適切かつ弾力的な支援について、要望する。</p> <p>また、今後大幅な税収の落ち込みが予測され、地方自治体の財政は極めて厳しい状況となることが見込まれる。安定的な財政運営に必要な一般財源総額及び地方交付税額の確保について要望する。</p> <p>大分県高等学校野球大会及び大分県高校野球選手権大会において、津久見高校野球部が優勝し、コロナ禍の中においても、市民の誇りや郷土愛が醸成され、まちづくりに大きく寄与している。生徒の健全育成がまちづくりに様々な好循環を及ぼすことから、更なる津久見高校への支援を要望する。</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
竹田市	<p>【社会増への取り組み】</p> <p>①移住定住（農村回帰宣言市を標榜） ※テレワーク・ワーケーションなどの新しい生活様式（地方への流れ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンク利用登録希望 4月～9月 88件 ・地域おこし協力隊 89世帯131人（H22～今年度予定者含む） ・移住政策を利用した移住定住者 267世帯473人 ・地域おこし協力隊や作家の移住定住による人の流れによりその素地が作られている（人が人を呼ぶ人間磁場）。 ・Web移住相談会の開催 <p>②定住促進住宅、分譲地の造成販売 ※第1回TOP総合戦略推進会議（H27）での市民の声を受け課題解決へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住促進住宅（3棟48世帯）、子育て住宅（6棟6世帯）の建設 ・中九州ニュータウン分譲（個人向け35棟11棟販売済み。アパート用地完売2棟20世帯予定） ・住環境の良い竹田に住んで、仕事は市外へ（中九州横断道路の延伸 大分へ1時間弱） ・住宅・アパート建設補助制度の充実 ・現在、民間アパートの建築も誘発されつつある。 <p>③基幹産業である農業後継者・新規就農者のUIJターン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県補助金に加え市単独の親元就農補助金（H28～55人） ・農業後継者雇用安定事業補助金（H28～9人）による支援 ・旧トマト学校・現ファーマーズスクール等の研修事業の充実 ・大規模農業法人への就職 ・大蘇ダム完成、大型機械や施設の導入等の農業施設環境の充実 ・経営基盤の安定→子どもの出生数の増加に繋がっている地域あり。 	<p>【商工・観光】</p> <p>※(第1弾) 小規模事業者等経営維持支援補助金(22,424千円) 192事業者申請 ・賃料・光熱費/電気料の助成</p> <p>※(第2弾) 竹田市版事業継続支援金 売上の減少率によって、10万円～30万円を助成する。</p> <p>※(第1弾) たけた未来券プロジェクト(31,755千円) 3,000円あたり600円のプレミアム共通券を付与 飲食・宿泊施設約100店舗の中から応援したいお店を指定して購入 10,585枚(WEBサイトからの購入40.8%) ←外貨の獲得</p> <p>※(第2弾) プレミアム付商品券(1億円分発行予定) プレミアム率20%(20,000千円)1人当たり50,000円まで</p> <p>※岡城誘客事業(景観形成、石垣保護、市内業者支援)⇒観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客誘致 ⇒岡城跡を覆う樹木を大規模伐開 当時に近い眺望確保による入込客の増を図る。 (JR、国道57号線の開通・ARの導入)。 ・経済対策 ⇒伐開はエリアを分けて市内業者が行う。 (小規模業者の経済対策も担う。) <p>【農業】(農業生産額5年連続大分県1位 H30:221億円)</p> <p>※(第1弾) 農村人材支援制度⇒登録者数 116人(4月以降97人増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家60人登録 ・マッチング 75件 (農家が複数のサポーターを雇用するケースがある。) ・外国人技能実習生の入国制限等で農村における人材不足 ・コロナ禍による仕事減・収入減など、特に都市部からの人材を支援・確保(WinWinの関係) <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においてインターネット販売の強化を図る。 <p>※(第2弾) 農産物販売・PR大作戦(送料1,000円まで無料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注文件数 1,256件 (前期) スイートコーン・ハウスかぼす・トマト・野菜セット (後期) 露地かぼす・ピオーネ・生落花生・おおいと和牛など <p>【高齢者対策】</p> <p>※暮らしのサポートセンターのコロナ禍における取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の核となる人材への支援(買物支援など) <p>【移住・企業支援】</p> <p>※テレワーク・ワーケーションの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞在スペース等の整備、モニターツアーの造成 	<p>※感染症やワクチンに対する国民の関心が高まっている今こそ「ワクチンで防げる疾病は国を挙げてワクチンで防ぐ」スタンスで国費での対応をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住する地域によって、差異が生じるべきではなく、国の責任において、法律に基づく対応としていただきたい。 ・具体的には、予防接種法に基づく「定期予防接種」の種類や回数を拡大し、その財源を国費で措置していただき、万が一、健康被害が生じた場合であっても国による救済措置をお願いしたい。 <p>【要望理由】</p> <p>本市では、これまで法定外の健診や予防接種など予防医療に取り組んできた。</p> <p>この4月からは就学前の子どもを対象として新たに、3種混合ワクチン(ジフテリア・百日咳・破傷風)と不活化ポリオワクチンの追加接種を無料で行うこととしている。</p> <p>同様の取組みは、全国の自治体にもみられるが、無料で接種できる制度は、全国で竹田市と津久見市のみとなっている(豊後高田市は一部負担あり)状況があるため。</p> <p>※乳幼児の死亡率の低下という観点では「自然増の取組」であり、子育て環境の整備という観点では「社会増の取組」に繋がるとの観点から。</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
豊後高田市	<p>【自然増の取組】</p> <p>①妊産婦の医療費を無料に</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年4月診療分より、母子健康手帳の交付を受けた妊産婦の医療費「保険適用自己負担額」を助成。 <p>②新たな子育て支援のワンストップ窓口を開設</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度より、保健師や専門の相談員に妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談ができる窓口（子育て世代包括支援センター）を開設。 <p>③全国トップレベルの子育て支援を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生までの医療費無料化、中学校までの給食費無料化、子育て応援誕生祝い金最大100万円支給などの子育て支援を、ふるさと納税を財源として継続中。 <p>【社会増の取組】</p> <p>①オンライン移住相談窓口を開設</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット「zoom(ズーム)」「skype(スカイプ)」を使用して、県外からの移住相談に対応。 <p>②市内全域を光で網羅、「テレワーク」を移住のきっかけに</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内全域にわたり光ファイバーを使ったケーブルテレビ網を整備しており、都市部と変わらないインターネット環境という強みを活かし、テレワークを希望する移住にも対応。 <p>③無料の定住促進宅地</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住者向けに、真玉35区画・都甲7区画の無料定住促進宅地を整備し予約受付中。 	<p>【個人向け支援】</p> <p>①定額支援金事業（500百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1弾：市民1人に1万円給付。 第2弾（再度）：市民1人に1万円給付。高齢者・障がい者・要介護等認定者に1人5千円加算。（第1弾と合計すると、総額5億円の支援策） <p>②大学生等を抱える親等への支援金事業（30百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生1人あたり5万円、ひとり親家庭等にさらに5万円加算。 <p>③地域内お買い物促進事業（88百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1弾：2割プレミアム付きお買い物券を総額1億2千万円分発行。 第2弾（再度）：2割プレミアム付きお買い物券を総額3億6千万円分発行。（第1弾と合計すると、総額4億8千万円の支援策） <p>【企業・事業者向け支援】</p> <p>①小規模事業者への店舗等家賃助成事業（31百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 家賃の8割(上限6万円)を6カ月分、先払いで助成。 <p>②新型コロナウイルス感染症緊急対策特別資金利子補給事業（5百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小事業者等への資金繰り支援、1,000万円までの利子分を3年間支援。 <p>③雇用調整助成金の上乗せ助成（10百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 雇用維持のため「雇用調整助成金」を活用する事業者へ最大30万円を上乗せ助成。 <p>④再就職応援事業（7百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 解雇された方や休業となった方の再就職を受け入れた事業所へ奨励金（上限10万円）支援。 <p>⑤中小企業再生支援事業（13百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな事業展開やコロナ終息後の生産拡大に向けて取り組む事業者の設備投資等を支援。対象経費の1/3上限500万円。 <p>⑥中小事業者感染予防促進事業（4百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染拡大予防に取り組む事業者を支援、感染症予防のための物品の購入を最大4万円支援。 <p>【観光振興】</p> <p>①みんなで応援！宿泊再生事業（15百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 誘客による地域経済の活性化を進めるため、宿泊費の半額相当（上限5千円）を助成。 <p>②くにさき六郷温泉活性化事業（8百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1弾：プレミアム付き共通入浴券販売、1回400円の10枚セットを2千円で販売。 第2弾（再度）：プレミアム付き共通入浴券販売、1回400円の10枚セットを2千円で販売。高齢者・障がい者用入浴券10枚セットを1,500円で販売。 <p>③地域観光再生事業（7百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな影響を受けている観光産業を再生するため、昭和の町の情報発信強化や農泊受け入れ態勢強化などの取り組みを支援。 新デジタルアートギャラリーへの小中学生招待、農泊・修学旅行受入準備などの取り組みを支援。 	<p>【県・国への要望】</p> <p>①交付税等財政支援</p> <p>新型コロナウイルスが地域経済へ与える影響は大きく、その対策にはかつてない大規模災害にも匹敵するほどの財政出動が必要となる。</p> <p>さらに、大規模な自然災害も頻発する近年において、景気の悪化により市税の減収が見込まれ、人口減少に伴い普通交付税の減少も見込まれるなど、今後の地方財政は極めて厳しい状況に陥ることが予想される。</p> <p>早期に社会経済の立て直しを図るため、地方行政をしっかりと運営できるよう、交付税をはじめとする財政支援をお願いしたい。</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
<p>杵築市</p>	<p>【社会増の取組として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク移住希望者に対する支援拡大を行っています。 <p>(ねらい・目的)</p> <p>コロナ禍で、仕事をする場所を選ばなくなりました。空港に近い立地を活かして、県外から仕事を持ったままテレワークができる人の移住支援を、臨時交付金を活用して実施しています。</p> <p>具体的には、即、入居ができるよう、風呂やトイレ工事、インターネット環境整備など、1戸あたり120万円を上限に、空き家の改修費の3分の2を、空き家の持ち主に補助します。テレワーク移住者についても、定額（家族あり・50万円、単身者30万円）で補助しています。 ※アパート等の集合住宅の改修は除く。</p> <p>-----</p> <p>また、コワーキングスペースの開設をめざして、市内の遊休施設や民間企業が撤退した跡地の活用を検討しています。 (旧・大田デイサービスセンター、ファナック跡地)</p> <p>ケーブル光回線の延伸工事、施設の改修補助などにも臨時交付金を活用する予定です。</p>	<p>【個人向け】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①県をまたぐ移動自粛や、生活応援のため、県外大学生・専門学校生に、杵築市の特産品を配送。 ②経済活性化のためには、市民の健康基盤が重要と捉え、感染をおそれて診療に来ない、健診を受けないといった高齢者などの支援を実施（送迎車両の導入、特定健診の受診特典付与による啓発） <p>【企業向け・観光振興】</p> <p>地元企業との官民連携による感染症対策を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルコール消毒液代替品を市内の全中小企業、学校に配布 ・夏用の接触冷感マスクを共同開発。市販も行っています。 ※3歳～中学3年生、教職員、妊婦等に配布 <p>(その他)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市内の消費喚起のため、プレミアム付き商品券（飲食40%、消費一般20%のプレミアム率）を発行 ②観光客誘致のため、観光協会加盟44店舗で使えるクーポン券（3000円で5000円分の買い物や飲食に使える） ③ドローン操縦など、新たなツーリズムの開発・造成支援 ④中小企業、農業者向けに、国の持続化給付金の対象とならない事業者（50%～20%の売上減）に対して、10万円を給付 ⑤飲食や接客を伴う市内の事業者に対して、感染症対策経費10万円を上限に補助 	<p>テレワーク移住や2地域居住は今後のスタンダードになると思われる。</p> <p>3密を最も回避できる中山間地は、民間の光通信網が未整備であるため、今後の5G整備も視野に、ご支援をいただきたい。</p> <p>※民間事業者の延伸工事への支援や市（ケーブルインターネット）の整備に対する補助を希望</p> <p>-----</p> <p>また、市民の健康不安を払拭するためにも医療・福祉施設に対する積極支援は引き続き継続いただきたい。 あわせて、診療所や福祉施設に対する感染症対策の専門家派遣や、病院での感染をおそれて診療をためらう住民に対する病状の悪化・介護予防の啓発にも努めていただきたい。</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
宇佐市	<p>【自然増の取組】</p> <p>・ すくすく子育て祝金事業 (56,336千円) 子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、出産及び小中学校入学を祝福する祝金を支給する。</p> <p>【支給金額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産祝金：第1、第2子…5万円、第3子以降…7万円 ・ 入学祝金：小学校…3万円、中学校…5万円 <p>【社会増の取組】</p> <p>・ 「うさ暮らし」移住満足度100%事業 (55,707千円) 空き家の解消や移住者による地域活性化につなげていくため、移住希望者の受入体制づくりを行うとともに、移住相談会をオンラインで開催するなど積極的なPRを行う。</p> <p>また、集落定住支援員を雇用し、UIJターン者への空き家の案内や田舎暮らしに対する支援を行う。</p> <p>令和2年度は住宅取得事業において、子育て世帯の移住者への拡充、及び家賃支援事業の新設を行う。</p> <p>・ 「USA・人材UIターン雇用拡大推進事業」 (13,243千円) 遠隔地の就職希望者や市内高校生へ企業情報の取得や面接の機会を動画・オンラインなどを通じて手軽な手段で提供し、地元就職やUIターン者の就労促進を図る。</p> <p>また、女性の再就職支援や高校・大学生を対象とした企業見学バスツアーを行うほか、地元就職の促進等を図るため、高校生を対象とした資格取得支援補助金を設ける。(令和2年度より補助限度額を増額)</p>	<p>● 「個人向け支援」</p> <p>・ すくすく子育て応援券事業 (248,956千円) 学校の臨時休業などにより、子どもたちが家庭で過ごす等により膨らんだ経済的負担の緩和と感染症の影響で不安を抱えながら赤ちゃんの誕生を迎えられた子育て世帯を応援するため、「すくすく子育て応援券」を支給する。 (0歳～高校生3年生相当、12月末日までに生まれた児1人当たり3万円の応援券)</p> <p>・ 保育施設等従事者応援事業 (40,680千円) コロナ禍に、保育が必要な保護者のために感染防止対策を講じて継続的に子どもたちを保育してきた保育士等への支援を行う。 (市内私立認可保育所、認定こども園、放課後児童クラブ、病児病後児保育施設の従事者1人当たり5万円の応援券)</p> <p>● 「企業・事業者向け支援」</p> <p>・ 中小企業資金融資利子補助事業 新型コロナウイルス感染症の影響により売上等が減少している市内の中小企業者が、運転資金に係る融資を融資機関から受けた場合、当該融資に係る利子全額を市が補助する。</p> <p>【補助内容】 補助対象融資 ①宇佐市中小企業振興資金 ②大分県新型コロナウイルス感染症緊急対策特別資金 利子補助期間：①5年 ②10年 対象融資上限：①500万円 ②1,000万円</p> <p>・ テナント事業者家賃補助事業 (30,000千円) 国の「家賃支援給付金」の要件に該当しない事業者に対して、固定費の軽減を図るため家賃の補助を行う。 申請時の直近1ヵ月における支払賃料(月額) × 1/3 (月額上限5万円) 6ヵ月</p> <p>● 「観光振興」</p> <p>・ 観光誘客促進事業 (47,780千円) 国、県で行われるキャンペーン等を利用し、宇佐市の観光資源、食文化、受け入れ体制等をメディアによるPR、市内宿泊施設の感染予防対策費に対する助成を行うとともに、市内に宿泊した人に商品券を配布し、誘客を図る。 (1宿泊施設上限20万円、宿泊者1人当たり2千円)</p>	<p>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の追加支援について】</p> <p>・ 新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援のため、更なる追加支援をお願いしたい。</p> <p>【住民基本台帳・税務など基幹系システムの標準化対応及び財源の支援について】</p> <p>・ 1人10万円の特別定額給付金の事務作業を実施するにあたり、全国の市町村で様々な基幹系システムの問題点が浮かび上がったと思うので、その事務改善及び自治体システム標準化に向けて、財源も含めて早急な支援をお願いしたい。</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
豊後大野市	<p>【自然増の取り組み】</p> <p>①婚活支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚を希望する独身男女に、出会いの場を提供することにより、少子化の要因となる未婚化、晩婚化に対する取組みを行い、豊後大野市に定住する人口の増加につなげ、結婚への機運を高める。 ・個別相談会の実施、セミナーおよび婚活イベントの実施、婚活サークルの結成および活動支援（新設）、個別フォローアップ、婚活サポーターの登録および育成 <p>※今年度事業実施状況</p> <p>○婚活サークル・・・イベントではなく、サークルという形で年数回の活動を通じてより多くの時間を共有し、コミュニケーションを重ねお互いを知る機会を増やして婚活へのステップアップを図る。 8/9 パラムにてピザ作り 男性12名、女性13名</p> <p>○セミナーおよびイベント・・・イベントの前に男女別々のセミナーを受け、その後のイベントでよりスムーズなコミュニケーションを実践できるようしたり、婚活の心得を学ぶことでイベントでのマッチング率向上を図る。 8/23 エイトピアおおのにてセミナーおよびイベントを開催 男性11名、女性10名 マッチング3組</p> <p>○婚活サポーター・・・独身男女の婚活を支援するサポーターの育成、指導を行う。 <u>婚活サポーター数：6名（9/25時点）</u></p> <p>②子育て応援給付金事業（ぶんごおおの子育て応援券）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中に必要な経費に利用できるクーポンを交付する。 ・対象児童は満1歳まで ・令和2年度から多子世帯の支援を強化（第1子20,000円、第2子30,000円、第3子40,000万円、第4子以降50,000万円） ・オムツ代、粉ミルク代、緊急時のタクシー代等に利用できる。 <p>【社会増の取り組み】</p> <p>①奨学金返還支援制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金の返還金に対し補助金を交付する。 ・対象者は公務員や独立行政法人の職員以外で下記に該当する者 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 高校等に進学し、奨学金の貸与を受けた者 ・奨学金の返還を遅延なく行っている者 ・補助金交付申請初年度の4月1日において満30歳以下の者 ・本市に住民票がある者 ・市税の滞納がないこと 等 ・返還額の2/3（上限20万円）を最大5年間補助する <p>②定住促進住宅補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住に際しての持家取得に係る経費の助成を行うことにより市外からの移住を促進する。 ・新築・購入支援（上限150万円） <p>③定住促進空き家対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を利用した移住体験用の施設を整備し、また、空き家入居に係る諸経費を助成することにより市外からの移住を促進する。 ・改修支援（上限150万円）、空き家成約奨励金（定額10万円）、家財処分（補助率1/2、上限10万円）等 <p>④移住コーディネーターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住および定住を希望する者の定住に向けた支援を行い、本市への移住定住の促進を図るため、移住コーディネーターを設置する。 ・相談対応、移住後の支援、地域住民との連携及び調整、情報発信、空き家バンク活動の支援等を行う。 	<p>【個人向け支援】</p> <p>①プレミアム商品券の発行（第1弾6月販売、第2弾9月販売）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊後大野市商工会による商品券発行事業（第2弾）について、商品券のプレミアム率20%分を補助金として交付する。 ・10,000円/1冊（額面価格12,000円/1冊）で20,000冊（第1弾10,000冊、第2弾10,000冊）販売 <p>②給食費無償化事業（57,506千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の児童（園児、小中学生）の4月～8月の給食費を無償化する。 <p>【企業・事業者向け支援】</p> <p>①応援タクシー運行支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により消費が低迷している市内飲食店等が持ち帰りサービスを開始したのに合わせて、豊後大野市タクシー協会がタクシー車両を活用した宅配サービスを実施するための経費の一部を補助。 ・利用者はタクシー料金100円/1回（7月から。5月、6月は500円/1回）+商品代金を負担する。 <p>②ものづくり補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業・小規模事業者の新製品 ・サービス開発や生産プロセス改善等のための設備投資の経費の自己負担分に補助金を交付する。 ・中小企業者は補助対象経費の1/8、小規模企業者および小規模事業者は補助対象経費の1/6（上限125万円）を補助 <p>【観光振興】</p> <p>①地場産品新規商品開発等補助金交付事業（20,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた地域経済の活性化を図るため、地場産品の新商品開発の取組に対し、経費の一部について補助を行う。 ・地場産品の新商品開発の取組に係る開発費等を補助する経費 500千円×40事業所 <p>②誘客対策強化事業（5,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市での宿泊を促進するため、個人向けの宿泊料金を助成するとともに「せっかくや券」を配布し、市内での滞在時間の延長や経済活動に結びつける。 ⇒1人1泊につき3,000円～5,000円分の助成/約600泊分 （宿泊助成2,000円～4,000円、商品券1,000円） 実施期間：令和2年8月～12月 対象施設：ロジッキよかわ、LAMP豊後大野、リバーパーク犬飼等8施設 ・隣接する周辺地域（特に宿泊施設）から本市への周遊を促進するため、里の旅タクシーの利用促進（タクシー料金の半額助成）を図る。 <p>③道の駅等管理事業（イベント補助金）（3,500千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心PRと観光客誘客のための道の駅単独イベントおよび合同イベントの開催を計画し、その経費を補助する。 単独イベント 500千円×5駅 合同イベント 1,000千円×1回 	

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
由布市	<p>【自然増の取組】 ・子育て環境の充実 現在の経済状況においては、共働き家庭が多いため、安心した子育て環境を整えることで、出生率の低下抑制を図ることが有効であると考えています。 由布市では、①高校生までの医療費無償化 ②保育所・児童クラブ等環境整備 ③5歳児健診の充実 等に取り組んでおり、出生率低下抑制を図っています。</p> <p>【社会増の取組】 ・①ワーケーション/コワーキングスペース/サテライトオフィス導入に向けた検討</p> <p>市内には、多くの宿泊業があるが、コロナ禍及び豪雨災害の影響を受け、事業継続が難しい状況にある。 令和2年度の当市への移住相談については、66件（8月末時点）となっており、前年同月で+9件増と、コロナ禍において、地方への移住を検討する方は増加傾向にあると考えています。</p> <p>当市では、ほぼ全域で、高速ブロードバンド環境が整っているため、宿泊業（旅館等）を利用した、ワーケーションやサテライトオフィスの導入に向けて検討する必要があると考えている。 但し宿泊事業者が受入体制を整えられるかどうか等、人的な要素への丁寧な説明を行う必要性があると考え、現在「湯平温泉観光協会・旅館組合」へ、意向調査を実施中</p>	<p>【個人向け支援】 ①プレミアム商品券の発行 予算額 70,900千円 プレミアム率 30%を付与し、個人消費を援助することで、市内経済の活性化を図る。</p> <p>②高齢者インフルエンザ予防接種事業 予算額 30,687千円 今後秋～冬にかけて、季節性インフルエンザの拡大防止のため、 予防接種に係る個人負担額を軽減し、高齢者の感染予防を図る。 現行制度 1,500円 ⇒ 改正制度 1,000円へ（500円負担減） ※対象者 11,550人 接種単価 4,321円（予定） 接種率 80%（見込） 500円減額の効果 4,620千円</p> <p>【企業・事業者向け支援】 ①企業による感染症対策経費への支援 100,330千円 新型コロナウイルス感染症へ対応するため、企業・事業者により、マスクや消毒液等を購入した経費に対して、一定額（10万円上限）を支援</p> <p>②中小企業緊急給付金/店舗等賃料支援金 計 90,781千円 （R2/4～7月実施済） 緊急事態宣言化において、市内中小事業者の事業継続支援のため、給付金/店舗等賃料支援金を給付 給付金：677件 店舗等：125件</p> <p>③児童福祉施設等従事者慰労金 22,500千円 児童福祉施設に従事する者に対して、緊急宣言期間での慰労を行う。 従事者 450人（見込み）</p> <p>【観光振興】 ①旅行クーポン券発行事業 予算額 43,000千円 市内へ訪れた旅行者へ、市内の飲食店を利用してもらうため、市内の宿泊先でクーポン券を配布し市内経済対策を図る。 2万人誘客見込み</p> <p>②市内宿泊割補助事業 予算額 79,890千円 主要産業である「観光・宿泊業」が、感染症対策及び豪雨災害のため大きな被害をうけているため、市内経済を誘発するためにも、市民に宿泊をしてもらうことを誘導する。 市民の10%（34,000人*18%程度）を想定 市民と同行する市外者も対象とする。</p>	<p>【R3年度の財政支援措置について】 本年度については、臨時交付金によりコロナ禍における対応を進めているが、来年度については、税等の大幅な減収が見込まれるため、継続した財政支援措置（交付税措置等）を国への要望としてお願いしたい。</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
<p>国東市</p>	<p>【自然増の取り組み】</p> <p>① 出産祝い金として、児童一人当たり3万円の支給。</p> <p>② 出生した子どもの出生順位×1万円の「子育てクーポン券」の交付。</p> <p>③ 特定不妊治療等について、上限50万円/回を助成。</p> <p>④ 未就学児及び小中学生の通院と入院、並びに高校生等の入院に係る医療費の自己負担分を全額助成。また、入院に係る食事療養費の標準負担額も全額助成。</p> <p>⑤ 定期接種の全額助成とおたふくかぜ、ロタウイルス、インフルエンザ、百日せきの接種費用の一部を助成。</p> <p>【社会増の取り組み】</p> <p>① 移住奨励金5万円/人を支給。(1世帯上限10万円)</p> <p>② 空き家バンク登録料1万円の支給、さらに成約料として2万円の支給。</p> <p>③ 空き家バンク制度を利用した移住者に対し、住宅改修費50万円、引越費用15万円、家財処分費5万円の助成。</p> <p>④ 住宅を新築、建売住宅や中古住宅を購入する者に対し、県外者150万円、市外者100万円、市内者50万円を助成。また、18歳未満の子がいる場合1人につき10万円を上乗せ支給。</p> <p>⑤ 単身世帯の移住者に対し、賃貸住宅家賃最大36月分助成(上限2万円)引越費用30万円の助成。</p> <p>⑥ 就業・起業のため市内へ転入する60歳未満の者に対し、最大10万円の引越費用を助成。(勤務先が市外でも対象)</p> <p>⑦ 県外からの移住者で諸事情により結婚式を挙げていない夫婦、カップルに対し、国東市ならではの結婚式をプレゼント。(50万円相当)</p> <p>⑧ 薪ストーブ設置する方に最大40万円を助成。また、薪割機を導入する方には最大5万円を助成。</p>	<p>1. 市民への支援</p> <p>① ふるさと応援マスク配布事業(5,500万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の安心安全を確保するため各世帯に対し、30枚入りマスク2箱配布するもの。 <p>2. 事業主への支援</p> <p>① 小規模事業者応援定額給付金給付事業(4,968万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上が前年同月に比べ激減した(20%減)個人事業者及び法人に対し、定額10万円給付するもの。 <p>② 緊急対策特別資金特別融資利子補給金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高等が減少している市内の中小企業者及び組合が、運転資金に係る融資を受けた場合、当該融資に係る利子全額を市が補助するもの。 <p>【補助対象融資】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大分県新型コロナウイルス感染症緊急対策特別資金 利子補助機関：3年 ・対象融資上限：1,000万円 <p>③ 農業、水産業応援定額給付金事業(2,850万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収入が前年に比べ激減した(20%減)事業者に定額10万円支給 <p>④ 市内店舗応援事業(6,040万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生用品、備品の購入や施設改修費等の助成など市内店舗の感染予防対策を支援し、プレミアム商品券を発行するもの。 <p>⑤ 観光応援プロジェクト宿泊キャンペーン事業(5,840万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿泊費半額助成及び市内飲食店等で利用できる割引クーポン券 <p>3. 子育て・教育への支援</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(1,661万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症予防に関する消耗品、備品購入や手洗い場の蛇口ハンドルのレバー化を行うもの。 <p>② 新型コロナウイルス感染症対策修学旅行補助事業(2,316万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市内小中学校の修学旅行を中止せざるを得ない場合のキャンセル料や三密対策に係る車両、宿泊代等、経費増額分を助成するもの。 <p>4. 移住者等への支援</p> <p>① オンライン移住定住推進事業(668万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン移住相談会に対応するため、必要な機器の整備とアピール動画などの素材を整備するもの。 <p>② サテライトオフィス等開設応援事業(1,565万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内においてサテライトオフィス、ワーケーション施設等を開設する経費の一部を助成するもの。 	<p>【安定的な財政運営に必要な普通交付税の確保について】</p> <p>地方自治体の規模や財政力に関わらず、各自治体で担う行政サービスは多少の違いこそあるものの、概ね等しい。</p> <p>人口減少や少子高齢化、そして新型コロナウイルス感染症拡大による経済の縮小により、今後ますます税収等の減少が見込まれるため、安定的な財政運営が可能となるよう普通交付税の総額確保を要望してもらいたい。</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
姫島村	<p>【自然増の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚祝金の支給 <ul style="list-style-type: none"> 夫婦がともに村内者 10万円 夫婦にいずれかが村外者 20万円 ・出産祝金の支給 <ul style="list-style-type: none"> 第1子 10万円 第2子 20万円 第3子以降 30万円 <p>【社会増の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Uターン、Iターン奨励金の支給 <ul style="list-style-type: none"> 個人 10万円 夫婦 20万円 (プラス子ども1人あたり5万円) ・ITアイランド構想推進事業 <p>姫島村をITアイランド構想のもと、オフィス・コワーキングスペースを整備した。すでに2社が進出し雇用を拡大している。今後も新たな企業の誘致を推進し、人口の社会増につなげていく。</p> ・漁業就業者奨励金 <p>姫島村で新規に漁業就業するものに対して、500千円の奨励金の給付を行う。</p> 	<p>【観光振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費喚起促進事業 <p>新型コロナウイルス感染症の影響による、地元商店や飲食店、旅館等の支援、消費者の家計への支援を目的に実施するもので、「がんばろう姫島商品券・食事・宿泊券」を発行し(プレミアム分・・・20%)、旅館・飲食店等利用代金の割引を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅館・・・1泊2食1人当たり3千円 飲食店・・・20% 土産店・・・10% <p>【企業・事業者向け支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品企業販路開拓緊急支援事業 <p>新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢や販売環境の変化に対応した販路開拓が喫緊の課題となっているため、新たに加工機器を整備し家庭消費に対応した新商品の開発・製造を行う事業者に対し、加工機器を整備する経費について、補助を行うことで、加工食品の製造拡大及び姫島村産水産物の消費拡大を図っていくこととしている。</p> 	

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
日出町	<p>【自然増の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じるため「子育て世代包括支援センター」を設置 (R02. 04. 01) ●子育て世帯を支援するため、臨床心理士・栄養士を月17日配置し、相談体制を強化 ●コロナ禍にて4ヶ月児健診を集団健診から町内2ヶ所の小児科個別健診へ変更 (R03. 03末実施分まで) ●1. 6ヶ月児健診と3. 6ヶ月児健診については、問診票の事前記入、健診当日は動線を一方通行にして時間短縮措置を施すなど、新型コロナウイルス感染防止策を実施。あわせて、心理、栄養、保育等の相談支援業務を後日個別に実施。 <p>【社会増の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教育環境の充実(小・中学生へのタブレット端末整備や図書館の設備等を改良) ⇒今後の移住促進につなげていくことも視野に入れ実施 ●オンライン移住相談窓口の設置(10月中旬に開設予定) ●本町の住環境の良さを活かし、今後は移住推進に加え、リモートワークやワーケーションの推進にも取り組んでいきたい。 	<p>【個人向け支援】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①町税、国民健康保険税等納付猶予 ②緊急雇用創出事業(非正規町職員10名募集) ③町内の中学生以下の子どもがいる世帯に、子ども1人につき5,000円分の町内テイクアウト商品券を配布。 〔子育て世帯応援事業〕 <p>【企業・事業者向け支援】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中小企業等賃借料等補助金 ・家賃月額×1/3×6ヶ月(上限20万円) ②中小企業等経営支援利子補給金 ・既存債務の条件変更の承認後6ヶ月の利子を補助(上限10万円) ③中小企業等事業活動維持支援補助金 ・融資額の3%を補助(上限30万円) ④「KIRARIチケット」経済復興支援事業(54百万円) ・30%のプレミアム付き商品券を12,000冊発行(入浴チケットも付加) ⑤保育施設等従事者応援事業(9百万円) ・コロナ禍に保育事業等に従事した保育士等に1人3万円の商品券を配布 <p>【観光振興】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コロナに負けるな「ひじっこ」応援事業(19百万円) ・町内の小学生以下の子どもがいる世帯に、子ども及び保護者各1名分のハーモニーランド入場券を配布 ※ハーモニーランドは新型コロナウイルスの影響により、3月22日から6月8日まで休園していた。 ②町活性化促進プロモーション動画作成事業(30百万円) ・観光振興等を図るため、ハローキティを活用した動画を作成 	<p>【国への要望】</p> <p>臨時交付金により、行政が感染防止対策と地域経済の衰退防止に大きな役割を果たすことができた。</p> <p>ただし、世界的に減退した消費の回復には2年程度かかるとの見通しもあることから、製造業などの業種はこれから影響が出ると見る向きもある。臨時交付金は、今回の交付にとどまらず、今後も必要に応じて措置していただきたい。</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
九重町	<p>【自然増の取組】</p> <p>①子宝支援補助事業（継続） 第3子以降を養育する保護者に対し、高校卒業まで、給付区分に応じ助成 就学前（3,000円@月）、小学生（4,000円@月） 中学生（5,000円@月）、高校生（10,000円@月）</p> <p>②育児支援事業（継続） 雇用保険法における育児休業給付金を受給できない方へ助成 月額10,000円×1年間（出産後12ヶ月）</p> <p>③子育て関連用品購入助成事業（継続） 未就学児を養育する保護者に対し、ベビーベッド等の購入費を助成 ベビーベッド、ベビーカー、チャイルドシート、ベビーバス</p> <p>【社会増の取組】</p> <p>①民間住宅家賃助成事業（継続） 賃貸住宅で暮らし始める方を対象とし、3年間で上限とし、一定額を助成 単身世帯（実質家賃の1/2（上限10,000円@月）） 同居世帯（実質家賃の1/2（上限15,000円@月））</p> <p>②移住体験住宅整備事業（新規） 移住希望者へ、一定期間の生活環境を体験していただく住宅1棟を整備 延床面積61.50㎡（最大宿泊者数10名）、 使用料1,000円@日 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、 現在は、受入未実施</p>	<p>【企業・事業者向け支援】</p> <p>①観光宿泊施設緊急支援事業（26,500千円） ・宿泊施設（約100施設）に対して、規模に応じた事業継続を支援 ～5室（100千円）、6～10室（200千円） 11～20室（300千円）、21～30室（400千円） 31～40室（500千円）、41～50室（600千円） 51室～（700千円）</p> <p>②中小企業応援事業（45,540千円） ・前年対比（2～4月）で売上が20%以上減少した事業者を支援 町内568事業所×80%×100千円</p> <p>③花卉生産者支援事業（14,000千円） ・嗜好品需要の低迷により売上が減少した事業者を支援 カスミノウ、菊、バラ、ポット苗等の生産者支援 花卉種類ごとに一定額を助成</p> <p>【観光振興】</p> <p>①ふるさとクーポン事業（37,975千円） ・宿泊1室につき5,000円の割引（Gotoトラベルとの併用可）を実施 第1弾 助成費5,000円×2,000名（県内者向け） 第2弾 県外者向け事業計画</p> <p>②「九重“夢”大吊橋」宿泊者無料通行事業（10,000千円） ・町内宿泊者に対し、通常500円の吊橋通行券を無料化する事業 チケット500円×20,000枚（一般宿泊客、修学旅行者）</p>	<p>【継続的な財政支援について】 新型コロナウイルス感染症については、地方創生臨時交付金を1つの財源として、その対策を図っている。</p> <p>一部においては繰越事業又は基金積立も可能とされているが、今後数年は感染症対策と社会経済対策の両方にバランスよく取り組んでいかねばならない。</p> <p>よって、今後も発生する自治体での感染症対策及び地域経済の下支えに資する対策への財源として、当該交付金の存続を要望する。</p>

市町村	人口増の取組	社会経済の再活性化の取組	県・国への意見・要望等
<p>玖珠町</p>	<p>【自然増の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産祝い金 第1子・第2子 5万円分の商品券 第3子以上は10万円を贈呈 ・ 県が実施している不妊治療に対する助成に対して町からも補助を実施 ・ 不育治療に対して補助を10万円を上限に治療費の1/2を5年間助成 ・ 国の事業を活用し、新婚世帯に上限30万円で引越し費用等を助成(条件有) ・ 臨時交付金を活用し、特別定額給付金の対象にならない新生児に対し補助を実施 <p>【社会増の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外からの移住者には移住者居住支援事業として最大145万円を助成。県内の移住者には移住支援事業を実施 ・ 空き家バンク情報周知の充実と空き家バンク登録物件の賃貸・購入に至った場合は20万円の補助金を交付。また賃貸・購入に至った物件を改修する場合は上限50万円を上限に1/2を補助する。(子育て世代0歳～18歳)を扶養している世帯については80万円を上限に1/2を補助) ・ お試し暮らし住宅を活用してもらうための情報発信や移住定住促進パンフレットの作成や玖珠町の情報発信を充実。 ・ LINEを活用し、町内の企業に関する情報提供を大学生、高校生、都市圏の住民向けに発信し、Uターン促進を図る。 ・ 新規就農者の受入れ、育成に必要な研修費や住居費に要する費用の一部または全部について予算の範囲内で補助する。 ・ 中学生までの医療費を無料、保育料のかかる第1子についても3～4割の保育料の軽減を実施。 	<p>【事業者向け支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 玖珠町中小企業者緊急支援事業【41,100千円】 昨年の同時期より売り上げが20%以上減少した中小企業者に対して10万円を補助 ・ 新型コロナウイルス感染症緊急経営利子補給事業【3,099千円】 売上減少の影響を受ける中小企業者の資金繰りを支援 ・ 農林事業者経営支援事業【10,000千円】 昨年の同時期より売り上げが20%以上減少した農林事業者に対して10万円を補助 ・ 事業者家賃補助事業【10,000千円】 国が実施している家賃補助のうち事業費の1/6を町が上乗せして補助 ・ 小規模事業者持続化支援事業【1,875千円】 小規模事業者持続化補助金のうち新型コロナウイルスの優先採択を受けた小規模事業者に対し国、県(上乗せ)補助にさらに上乗せして補助 ・ プレミアム商品券事業【33,000千円】 町内での消費喚起を促すためにプレミアム付き商品券を発行するもの 飲食店で利用できる商品券はプレミアム率30% 一般の商店で利用できる商品券はプレミアム率20%の2種類を発行 <p>【個人向け支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒等休業支援対策事業【11,456千円】 高校生以下の子どもを持つ世帯に対し学校が休業による昼食代等の負担軽減のために、飲食店で利用できるプレミアム付き商品券を配布するもの。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的な理由で結婚や出産を控えている方達を支援する事業を要望する。 ・ ひとり親でも、将来に対して安心して、子育てができる環境を整備してほしい。